

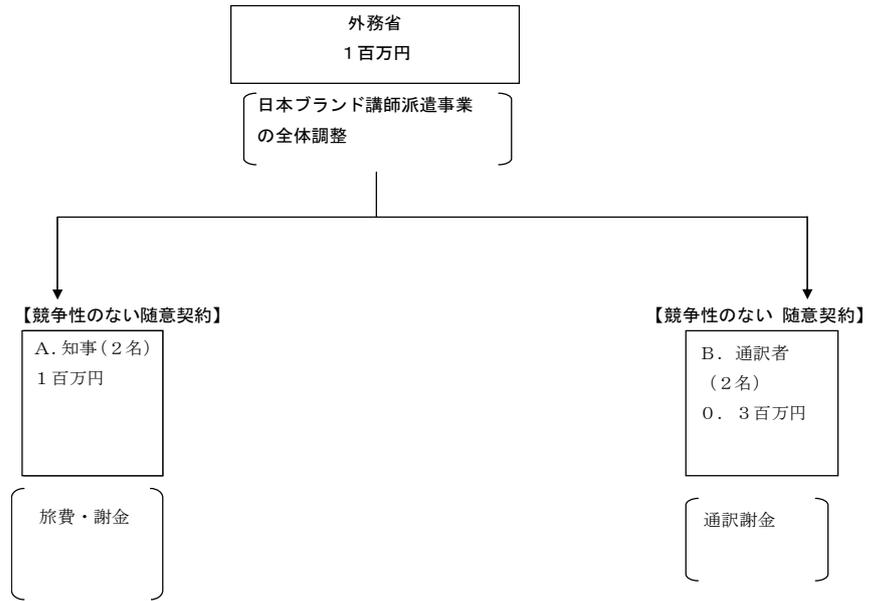
平成25年行政事業レビューシート (外務省)

事業名	日本ブランドの講師派遣事業		担当部局庁	外務報道官・広報文化組織		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成24年度		担当課室	広報文化外交戦略課		課長 米谷 光司		
会計区分	東日本大震災復興特別会計		政策・施策名	Ⅲ-1-2 海外広報の実施				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	外務省設置法第4条 外務省組織令第3条及び第24条		関係する計画、通知等	「東日本大震災からの復興の基本方針」大震災の教訓を踏まえた国づくり(P23、5(4)③(i))				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	民間有識者等の高い発信力をもって、日本再生に関する外国の理解を増進し、日本ブランドを再構築し、日本産品の信頼性回復・向上を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	震災後の日本の復旧・復興の様子を、日本ブランドの復活・強化の観点から国際社会に伝えるため、有識者・著名人を海外に派遣し、それぞれの特性を活かした講演等を実施する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
		補正予算	-	-	13	-	-	
		繰越し等			△ 11			
		計	-	-	2	-	-	
	執行額	-	-	1				
	執行率 (%)	-	-	75.3				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (24年度)
	【成果目標】 開かれた復興、日本再生に関する外国の理解増進		成果実績		-	-	2/2件	5/5件
	【成果実績】 アンケート結果(A(最適)、B(適)、C(やや不適)、D(不適)の4段階でB以上)		達成度	%	-	-	100%	
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	活動指標:24年度末までに5件の実施予定。 活動実績:2件の実施(執行停止の結果、2件に留まった)。		活動実績 (当初見込み)	件	-	-	2件	-
単位当たりコスト	737.5千円/件		算出根拠	執行額1,475千円÷2件				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
				平成24年度限りの事業				
	計							

事業所管部局による点検						
	項目		評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	日本ブランドの復活・強化に関し、発信力を高め高い成果を上げるためには、外務省が派遣先・派遣講師の選定を行い、在外公館アレンジのもと講演会等を実施する必要があった。しかし、平成24年11月7日付けの「今後の復興関連予算に関する基本的な考え方」に基づき、未執行部分については執行停止となった。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
事業の効率性	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		△	航空賃の調達においては、見積合わせにより、可能な限り廉価な調達を図る等、コストの削減に努めた。		
	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○			
	受益者との負担関係は妥当であるか。		—			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		—			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
事業の有効性	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		—	各講演実施にあたっては、講演のみならず、要人等との意見交換も行うとともに、派遣先の国・地域において在外公館を通じて集客を行うことによって、広報効果・費用対効果の向上に努めた。活動実績は執行停止により、当初の予定より減少。施設については既存のものを活用した。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○			
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		△			
重複排除	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		—			
	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		—			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点検結果	本件事業は、特に東日本大震災後、海外における日本ブランドの復活・強化が重要政策課題とされる中、主要外交行事の際に、会議参加者、メディア、現地の要人等に被災地をはじめとする日本の魅力や、日本ブランドをPRするものであり、国益や国民のニーズに叶う優先度の高い事業であったと考えられる。					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年		平成23年	新24-5	平成24年	新24-8

個別事業名: 日本ブランドの講師派遣事業

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

個別事業名: 日本ブランドの講師派遣事業

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.知事A			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
旅費	知事Aのロンドンへの派遣	1			
謝金	知事Aのロンドンにおける講演謝金	0.02			
計		1.02	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

個別事業名： 日本ブランドの講師派遣事業

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	知事A	ロンドンにおいて県の復興状況や魅力について講演。また、現地関係者と意見交換を行う。	1	随意契約	—
2	知事B	香港において県の復興状況や魅力について講演。また、現地関係者と意見交換を行う。	0.3	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	通訳者A	香港、知事Bの講演や現地関係者との意見交換の通訳を行う。	0.2	随意契約	—
2	通訳者B	ロンドンにおいて知事Aの講演会等の通訳を行う。	0.2	随意契約	—
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					